



介護あんしん 相談員だより

第43号 令和元年11月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見え気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和元年8月・9月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：M様の車椅子の後ろに、写真が吊るされていましたが、姿勢を整える為の写真なのか気になりました。

施設：M様の嚥下状態が低下しており、肺炎を併発する危険性があります。その為、専門職(言語聴覚士)より状態確認を行い、写真を撮ってマニュアル化しています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



施設では、肺炎が原因で入院されるご利用者様が増えており、肺炎予防の為に、専門職として言語聴覚士さんも一緒にご利用者様の対応をされているそうです。

言語聴覚士さんから、飲み込みが難しい人の食事時の姿勢のアドバイスにより、食事の介助方法の写真を撮り、誰が対応しても同じ対応をすることで、誤嚥性肺炎を防ぐ効果が期待されているということでした。

このように、写真を見ればスタッフが一目で分かるように工夫をされていて、とても良いアイデアだと思いました。



相談員：以前と比べて、施設の雰囲気が明るくなり、スタッフさんの対応も良くなりましたね。ちょっとした気配りが、介護スタッフさんからだけでなく、お掃除をしているスタッフさんからも感じられました。
施設：本当にありがとうございます。少しずつですが、スタッフの意識が変わってきています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



施設からは、「以前は仕事をこなすことだけで精一杯で、入所者様との関わりも薄く、行事もほとんど実施できていない状況でした。しかし、現在は時間を見つけて買い物レクやイベントを実施し、次に何の勉強会がしたいか等職員からの発案も増えてきています。

介護あんしん相談員さんから褒めて頂いた言葉をスタッフに伝えると、素直にとっても喜んでいました。今後、“変わったね。良くなったね。”と言って頂けるように精進します。」とのことでした。もっと素敵な施設になりそうです。

また、他の施設でも、「玄関に一歩足を入れると、素敵な飾りや野の花をさりげなく活けてあり、季節感いっぱい心が和みます。」と介護あんしん相談員さんから報告がされています。どこの施設も工夫をされていて、働く人も、利用者も和める施設にしたいですね。



～利用者さんの声より～

利用者：家族が持ってくるお菓子を、皆さんに分けてあげるの鼻が高い。

施設：皆さんに配られるので、困っています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



施設の利用者様はそれぞれ病気や、むせ等飲み込みの問題があり、お菓子が食べられない方もいらっしゃると思います。そのような場合は施設としてもとてもお困りだと思います。

やはり、ご利用者様とご家族に話してお菓子持参はご遠慮して頂けるよう、お気持ちを害されないように、ご理解して頂けたらいいですね。

このような問題は、他の施設でもあるのではないのでしょうか。とても悩ましい問題ですね。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。